



## 第7回 株式会社ガゾウ 代表取締役社長 金田 篤幸 氏



代表取締役社長 金田 篤幸 氏

新潟経済の次世代を担う若手経営者にお話をうかがうコーナー「Next Niigata Leaders Circle (N2LC)」。

第7回目は、新潟市中央区でUSBカメラ、検査装置等の開発・販売を手掛ける株式会社ガゾウの代表取締役社長金田篤幸氏にお話をうかがった。

(聞き手：新潟支店長 岩瀬 宏之)

— 本日はお忙しいところありがとうございます。まず始めに御社の創業年月について教えてください

2017年1月の設立なので、まもなく4年になります。

— 事業内容をお聞かせください

もともとは目の代わりになる製品の製造からスタートしました。ファクトリーオートメーション

(工場における生産工程の自動化)に対応するため、工場のラインに流れてきた製品をカメラで撮影し、撮影した画像を解析、その製品に欠陥があるか否かを判別するようなシステムなどを手掛けていました。また、それに加えて昨今話題のAIにも限界があるため、最後には人間が目視検査をしなければならないものも多いですが、その検査の熟練者の目の動きを解析してつくった製品もあります。

システムで大切なことは、目の動きを正確に捉えることができるかどうかということです。

— そういった製品からいろいろなものに応用、派生させていっているということですね。現状のメイン商材はどのようなものですか？

現在は、視線や眼球運動のベースとなったUSBのカメラ、そして画像処理ソフト、さらにその応

用となる視線や眼球運動の解析システム、この3本で収益を構築しています。USBのカメラについては主に組み込み型で、パソコンの中に組み込まれていたりします。最近だと工場にAGVという無人搬送車が走っているのですが、それも光学式のものでは当社のカメラが使われています。

— 業態としてはめずらしいと思うのですが、同業者はいらっしゃるのですか？

オンリーワンとまではいきませんが、同業者は非常に少ないですね。私が知る限りでは、国内に3社程度だと思います。その3社のなかには、自社製造をやめた先もあり、海外から商品を仕入れている企業もあります。また、当社はカメラの技術があることで、あまり競合する企業はないです。ですから、当社がライバルとして考えているのはスウェーデンやドイツなどの海外企業です。

— 国内ではほぼオンリーワンということですが、金田社長から見た御社の強みを教えてください

カメラの技術があるということが一番の強みだと思います。カメラは別で購入して、それを使ってソフトを組んでいるという企業は結構たくさんあるのですが、そうすると、ハードの改善、アップデートがなかなか難しいです。少し細かい話になるのですが、例えば、眼球を捉えようとする、特殊な光を使って1秒間に120枚撮れるカメラじゃないとだめだとか。

— カメラの技術、性能も重要なのですね

そうですね。ただ、スペックばかりを求めたサ

イズの大きなカメラならいいかというところではなく、製品に合うように小型化もしなければなりません。ですから、自分たちでそれらを調整してカメラをつくることができることは強みですね。また、カメラのスペックを知っているからこそソフトの製造に生かせる部分もあります。

— 御社は新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか？

もちろん悪影響もありましたが、好影響も少なからずありました。いかに接触しないで作業ができるかということが重視されましたので、目の代わりになる当社製品の引き合いは増えました。

— 話は変わりますが、新潟は起業・創業が少ないと言われています。新潟の起業・創業が少ない要因や、ご意見はありますか？

例えば広い新潟市江南区に県庁や市役所の出先などを一カ所にまとめて、その近辺にベンチャー企業が入居できる施設を置けばいいと思っています。ベンチャー企業同士で付き合うことで相乗効果が生まれますので、そういう施設があるといいと思っています。

— 「起業・創業拠点」のような大規模な拠点ができればいいですね

ただ、起業・創業するにも、そのための教育のところからのスタートになると思っているので、結構時間軸が長い話になります。それはそれでやるとして、今優先してやるべきことは域外から企業を誘致することだと思うので、それができる環

境を整えることが重要だと思っています。

### — 最後に今後の事業展開について教えてください

直近で考えているのが、取得した視線データに対するコンサルティングです。ただ、当社単体ではなく、付き合いのある研究機関と共同でコンサルティング業務をしていこうと考えています。更なる拡大ということになると、ウェアラブルデバイス（装着可能なコンピュータ）だけではなく、据え置きタイプのコンピュータというのを考えています。例えばパソコンの内蔵カメラで捉えるだけでその人がどこを見ているかわかるとか。それを使えば、マーケティングにも活用できますし、現在、大手飲料メーカーさんと一緒に、小売店の陳列棚に人間の視線を認識できるカメラを仕込むという取り組みも進めています。そういうところ

#### 企業概要

商号：株式会社ガゾウ  
 (TDB企業コード：675020287)  
 (法人番号：9110001032097)  
 所在地：新潟市中央区鑑西1-11-1  
 新潟起業化センター 201号  
 設立：2017年（平成29年）1月  
 代表：金田 篤幸氏  
 事業内容：USBカメラ、検査装置等の開発・販売ほか  
 年商：1億300万円（2019年10月期）  
 従業員：11名

に発展していけば、一気に業容は拡大すると思っています。

— 「新潟にガゾウあり」となってくれば、我々企業情報サービス会社としても嬉しい限りです。本日はありがとうございました

## 金田代表一問一答

### —最近気になったニュースは？

毎年幕張メッセで開催されるCEATEC（アジア最大級の規模を誇るIT技術とエレクトロニクスの国際展示会）がオンラインで開催されたことです。開催初日には前年比4倍のアクセスがあったことでサーバーに負荷がかかり、アクセスしづらかったという人気ぶり？ だったそうです。

### —今会いたい人は？

単純に興味本位ですが、HuaweiのCEO任正非氏に会ってみたいです。現在のアメリカからの攻撃に対し、どのように対応していくのかをとっても知りたいです。

### —性格を一言で表すと？

慎重です。外面は豪放を装っていますが、内心は臆病です。そのため、大胆に物事を進める前の根回しなどの用意周到さには自信があります。

### —最近うれしかったことは？

最近、だんだんと実績が積み重なってきたおかげで、ガゾウに対する認知度が上がってきています。お客様からしっかりと信頼された上で仕事を依頼されていることをとても嬉しく、また、誇りに思っています。

### —好きな言葉、大切にしている言葉は？

人徳です。亡き父から不意に言われた「お前には人徳がある」という言葉を大切にしています。